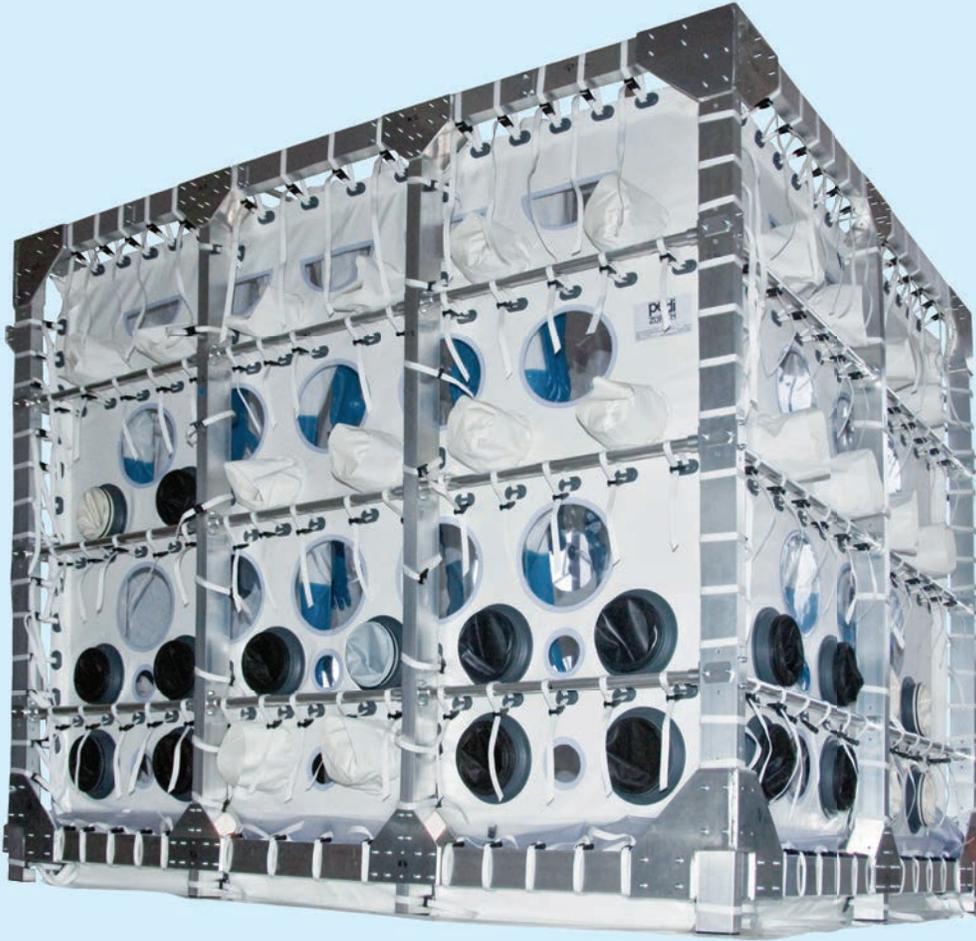


グローブボックス用解体テント



用途

防護保護設備を廃棄するには十分な予防措置が必要です。微粒子放射性汚染の拡大を防止しなければなりません。これらの設備またはその一部を解体する前には、いわゆる「解体用テント」で完全に包囲しなければなりません。この目的のため、既存施設（グローブボックスなど）の周りに解体テント（封じ込め策）を設置します。中に入ることも出来るし、適切な道具を用いて作業ができるように内部にまで達するドライボックスグローブを装備することができます。既存施設を開放する際には、汚染の拡散をテントのフィルムで効果的に包囲します。

概念

既設設備の構成は、密閉状態のまま、出来るだけ供給チューブ、ケーブル、継手から解体します。

その後、汚染された既存設備の周りにわずかに大きくて柔軟性のある格納容器を組み立てます。この格納容器はアルミ構造で、そこにテントフィルムを吊るします。

テントを密封する前に、解体に必要な工具を格納容器の内部に固定します。その後、解体テントを密封します。

解体テントを既存の排気エアフィルタシステムに接続します。解体テント内部の交換空気と真空の圧力（200Pa以下、短期間では400Pa以下）は制御・調整されます。

廃棄されるグローブボックスの解体・切断された部品は、気密設置されたバレルから排出します。

グローブボックス用解体テント

材料－取付部品

解体テントはPVCで覆われた強化ポリエステル繊維から成る4枚の壁、屋根および床（厚さ0.55mm、白色、DIN 4102Bに準拠する難燃性）で構成されています。

その他取付可能アイテム（例）

- 窓
- グローブ。HF溶接で結合、または交換可能。グローブポートに固定
- ジッパー。入口と出口に密封して溶接
- 物の出し入れ用の接続ロック
- 丈夫なPVCから構成されるシート
- 火災警報器、消火器、電源、フィルター装置（入口・出口）、圧力測定用のリード線などが取付可能です。
- マニピュレータ用設置治具



グローブを用いて、テント内の廃棄対象物を分解したり、解体することができます。放出された汚染物質は、テントのフィルムによって効果的に包囲されます。

テント内部の陰圧によって、フィルムは構造物から吊り下げられ、良好な形状に保たれます。構造物はアルミニウム製であり、テントフィルムは布製の紐で結ばれています。

使用されているすべてのコンポーネントについて、DIN 10204.2.1に準拠する適合証明書、もしくはDIN 10204.3.1Bに準拠する検査証明書が発行可能です。さらに、フィルムと構造物については、FEA（有限要素解析）があります。解体テントの生産はpediの厳しい品質基準に従い、耐久性試験合格をもって出荷しています。

各解体テントに文書（英語またはドイツ語）を提出いたします。

参照

Siemens DE-Hanau Moxプラントの解体

Belgonucleaire B-Dessel Moxプラントの解体

Belgoprocess B-Dessel－グローブボックスの解体

Sogin I-Rome Casacciaの研究所廃棄

解体テントはTüv Deutschlandによって「アルファタイトエンケースメント(α 線環境における密閉容器)」として分類・承認されています。



日本総代理店 東京産業株式会社

営業第一本部 ニュークリアエネルギー部 ニュークリアエネルギーチーム

〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目2番1号（新大手町ビル）

TEL: 03-5203-7683 / FAX: 03-5203-0641 / www.tscom.co.jp